

# 生活

## ワーク&ライフ

# 増えるママ社長キライ

# 企業より起業で

母親が起業し、従業員を雇う「ママ社長」が注目を集めている。企業社会ではまだ少数派だが、家事や育児で気が付いたアイデアをビジネスにしたり、従業員に柔軟な働き方を提供したり、小さくてもキプリと光る会社がある。

大津たまみ社長(40)

「働く女性に忙しすぎ、誰か家事を手伝ってほしい」という経営理念を

# 家事代行や育児商品通販 事業のヒントは自分目線

「働く女性に忙しすぎ、誰か家事を手伝ってほしい」という経営理念を

「働く女性に忙しすぎ、誰か家事を手伝ってほしい」という経営理念を

「動かすときは腰を伸ばして」



掃除機の動かし方を指導する大津たまみ社長(左)

「育児や家事に忙しいママに、在宅でできる仕事を提供したい」

「専修大商学部で、人脈や資金も不足している」と指摘する。



自宅を会社にして唐松奈津子社長(左)=東京都品川区で

自宅。「プライベートは制限されるが、娘との時間は取れる」。



### 有休も保険もなく疲れ果て

昨年まで働いていた職場は、1日8時間、週6日働いても、パートということでも有給休暇は1日ももらえず、保険に入ることも許されませんでした。

### ランチタイム

投稿を募集します

「ランチタイム」では、記事や職場、仕事に関する皆さんのご意見を紹介します。

# 天職ですか

縦軸に駅名、横軸に時間が書かれた紙に、列車の運行を表す斜めの線がびっしりと書かれています。

## 最適の列車運行を探る

鉄道ダイヤ作成担当者 岡本俊也さん(45)

入社後、運転士や車掌などずっと鉄道畑を歩んできた。二〇〇〇年の東海豪雨のときは、運行を管理する運転指令にいて、応急ダイヤを組むため一週間、会社に泊まり込んだ。



ダイヤグラムを前にダイヤ作成の難しさを語る岡本俊也さん

# 「便利に」目指し日々奔走

た条件の中でいかに便利にするか。スジ屋の腕の見せどころだ。乗降駅や利用時間が分かる自動改札機の情報から、混雑する列車や直通列車を走らせる

「全国のダイヤを練り上げる。通常、一年半〜二年かけてダイヤを練り上げる。定規とペンでスジを引いた時代もあったが、今は、コンピュータの画面上で引く。プログラマー任せで組む路線も出てきている。ただ、名鉄のダイヤは、名鉄名古屋駅に向けて複数路線から電車が集中し、上下線が交差する地点もある。

ダイヤ作成担当者 特別な資格は必要ないが、運転士などを熟知しないとできない仕事。名鉄の場合、担当者4人は、すべて乗務員の経験があり、運転指令も3人が経験している。

写真 山田欣也